

台風19号の災害復旧状況

昨年の10月に大きな爪痕を残した台風19号。土砂崩れや床上浸水をはじめとする被害があり、市内のあちこちに傷跡が残りました。1年近く経過し、緊急に対策を取る必要があった道路や土砂崩れの復旧状況を視察してきました。

昨年の内に、多くの災害現場では、緊急的に仮設の復旧は行っていますが、しっかりとした整備が必要です。

1. 浮橋より熱海の多賀に抜ける県道

仮設道路の復旧は、3月にはできていましたが、正規の道路に戻るには年内いっばいかりそうです。通行には支障はありませんが、1日も早い整備を働きかけていきます。



2. 日通道路

整備は順調に進んで、8月中旬には完全に復旧できていました。



夏の高校野球静岡大会の入場制限緩和を要望

静岡県高野連は、6月5日の臨時理事会において、無観客試合が前提で、記録員として保護者5名まで入場可との苦渋の決断を下しました。

しかし、「広い球場で3密を避けることは十分可能」「せめて今まで一緒に頑張ってきた保護者に子ども達の最後の勇姿を見てもらいたい」との思いから、県議会有志は議論を重ねました。

そして6月末、高野連会長、理事長に大会成功に向けた支援を約束し、入場者の制限を緩和するよう強く要望しました。

県高野連は、7月の役員会において、3年生の保護者2名まで入場可能と変更し、大会は成功裏に終わりました。



静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

もっとよし！レポート。



発行者：土屋もとよし 発行日：令和2年10月2日
〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL.055-948-9635-055-948-0267 FAX.055-947-1811

土屋もとよし 県政報告 Vol.20

こんにちは！ 土屋もとよしです。

コロナ禍の状況で、会合や外出の自粛要請、多くの行事やイベントの中止、生活の様式も一変し、今まで体験したことのない、籠もっての生活は窮屈なものです。

このような状況下ですが、「もっとよし！レポート20号」を発行することとしました。

この半年間は、新型コロナウイルス感染症により、県民を取り巻く環境が非常に厳しい状況におかれていられる中、地域での悲痛な叫びを県政にしっかりと届け、対策の早期実行を働きかけてきました。

県議会では、2月議会の令和2年度の予算審議で、急ぎよ、新型コロナウイルス対策の補正予算約24億円を組み、承認されました。

4月28日には臨時会を招集、補正予算を264億円計上し、国との連携による事業を展開しました。その後、5月にも補正予算を計上、第二波といわれる感染の再拡大が広がりを見せる中、6月議会の冒頭に補正予算を承認し、コロナ対策の補正予算は合わせて約587億円となりました。

医療機関や福祉施設等への支援の充実を図り、日々変わる状況を把握しながら、飲食業や宿泊施設に対する休業協力金の補助や県独自の宿泊クーポンの発行など、地域の要望に少しでも応えられる施策の展開を図ってきました。



今年度の私の役割

今年度は、県議会の厚生委員会 副委員長、新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会 副委員長、議員選挙区等調査検討委員会 委員に就任しました。

また、2度目の静岡県医療審議会 副会長に就任しています。

新型コロナに関する職務が多く、最優先に対応しなくてはならない重責にあると感じております。しっかりと頑張っていきます。

今年の質問登壇予定

一般質問は、12月議会に登壇予定です。

新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのか計り知れない中、地域の課題をしっかりと取り上げていきます。

静岡県観光促進キャンペーン「今こそ！しずおか!! 元気旅!!!」

1 インターネットサイト予約での宿泊助成(4万枚)

対象	全国(県内を含む)からの宿泊旅行者		
利用方法	インターネット予約サイト(①楽天トラベル、②じゃらん net)にて宿泊割引クーポン(各2万枚計4万枚)を発行		
発行期間	①楽天トラベル:令和2年10月6日(火)~令和2年11月30日(月) ②じゃらん net:令和2年10月8日(木)~令和2年11月30日(月)		
割引対象期間	①楽天トラベル:令和2年10月6日(火)チェックイン~令和2年12月1日(火)チェックアウト ②じゃらん net:令和2年10月8日(木)チェックイン~令和2年12月1日(火)チェックアウト ※土曜宿泊分は対象外(ただし土曜日宿泊を含み、2連泊以上する場合、予約サイトごとに対処が異なるので、各予約サイトに御確認ください)		
助成額	宿泊費の1/2以内:1人1泊最大5,000円 ※1人3泊まで利用可		
	クーポン金額	10,000円	5,000円
	宿泊人数	2人~	1人~
	発行枚数	20,000枚	10,000枚

2 県内旅行者店舗での宿泊助成(2万泊分)

対象	静岡県民限定		
利用方法	県内旅行者店舗(200店舗以上)にて割引(2万泊分) ※取扱店舗は県観光協会HP「ハローナビしずおか」内のキャンペーンサイト(https://imashizu.hellonavi.jp/)に掲載		
受付期間	令和2年9月25日(金)~令和3年1月31日(日)		
割引対象期間	令和2年10月1日(木)チェックイン ~令和3年2月1日(月)チェックアウト		
助成額	宿泊費の1/2以内:1人1泊最大5,000円 ※1人3泊まで利用可		
	クーポン金額	5,000円	3,000円
	宿泊代金	10,000円(税抜)~	6,000円(税抜)~
	宿泊人数	1人~	1人~

※GoToキャンペーン併用可 駿河湾フェリー運賃半額 1月31日迄(2.6万人分)

◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1
TEL.055-948-9635-055-948-0267 FAX.055-947-1811

静岡県議会議員 土屋もとよし 検索 URL www.tsuchiya-m.com

facebook
はじめました!

「もっとよし!!」
を合い言葉に!!



メール会員を募集しております。携帯の方は左記のQRコードを読み込むか、moto@67865.r.at.mljp まで空メールをお送りください。パソコンの方はmoto@tsuchiya-m.comまで「メール会員希望」とご連絡ください。

観光産業振興議員連盟で、国に要望活動

令和2年6月25日、県ホテル旅館組合の役員と共に、観光振興について西村経済再生担当大臣と自民党本部に、2度目の要望活動を行いました。



観光庁のGo Toキャンペーン担当職員より、事業内容について詳しく説明を受け、質疑応答を行いました。

PCR検査施設の早期設置について

6月後半には、第二波といえる新型コロナウイルス感染症の陽性者の数が増えてきました。この時点で、PCR検査は、帰国者・接触者相談センターで受付し、指定された場所での検査となっており、伊豆の国内で直接の検査ができませんでした。そのため、かかりつけ医からの直接の検査体制の構築が求められていました。

8月半ばに、我々の地域でもPCR検査ができると新聞報道がありました。2市1町の行政には、1日も早い設置を働きかけてきましたが、ようやく、9月28日から「田方PCR検査センター」が、ドライブスルー方式で週2日開設することが決まりました。

抗原検査施設の設置について

これから冬にかけて、インフルエンザの流行が考えられます。その時、新型コロナかインフルエンザか判断できなければ、病院等でクラスターが発生することも危惧されます。

そこで、近隣病院に抗原検査施設の設置が必要と考え、早期に整備できるよう働きかけています。設備が整えば1時間以内に結果が判明するからです。その検査設備は、病院の負担は少なく、県の予算で機器等の準備ができ、臨床検査技師がいれば対応できます。

PCR検査センター設置・運営学ぶ田方3市町議員有志
新型コロナウイルスの感染拡大を受け、田方地区の3市1町議員有志の会は、田方PCR検査センター設置をテーマにした研修会を伊豆の国市の大々めぐり会館で開いた。



静岡新聞8月15日掲載

今後、コロナ感染がどの様に推移していくのか見当もつきませんが、これからも最悪の状況を想定して、できる限りの準備をしていきたいと思います。

- ・医療従事者等への応援金の支給
- ・高齢者・障害者・児童福祉施設等の従事者や妊婦の方の感染症検査体制の充実
- ・県民生活への支援 など

令和2年5月より、3,776万円を目標に募金を募っています。ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
知事直轄組織総務課 054-221-2759・2093

新型コロナウイルス感染症検査方法の違い(8月6日現在)

国新型コロナウイルス感染症対策分科会(第2回)資料改変

検査方法	PCR検査(LAMP法を含む)	抗原検査	
		定量	定性(簡易キット)
保険診療適用日	3月4日	6月25日	5月13日
検査内容	検査手法	ウイルスの遺伝子を増幅させてその量を測定	分析装置を用いて、ウイルスのタンパク質(抗原)に反応する抗体を用いて測定
	検査過程	検体採取→(搬送)→前処理→検査→判定	検体採取→(搬送)→前処理→検査→判定
	資材人員	機器・試薬・臨床検査技師が必要	機器・試薬・臨床検査技師が必要
検査時間	4~6時間(時短PCR:1~2時間) この他に搬送等に時間が必要	30分 この他に搬送等に時間が必要	30分
感度	少量のウイルスで検出が可能	抗原検査(定性:簡易キット)より感度が 高く、LAMP法と同程度の感度	PCR検査と比べ一定以上の ウイルス量が必要
用途	● 確定診断 ● 陰性診断 ● 治療経過のフォロー	● 確定診断 ● 陰性診断 ● 治療経過のフォロー	● 確定診断(発症2日目から9日目まで) ● 迅速診断

伊豆中央道 江間交差点立体化とETC設置について

7月9日、伊豆中央道江間交差点の立体工事が完成し、開通式が行われました。

これで、上り車線におけるイチゴ狩りセンター方面への交通渋滞が解消されることとなります。

そんな折、伊豆中央道と修善寺道路の非接触型決済のETC設置案が浮上しました。

この2カ所の料金所は、令和5年11月12日に撤去されます。

無料になる時期が決まっているので、ETCの設置は必要ないと思いましたが、行政の提案説明を聞くと、これはやるべきだと分かりました。

それは、国からの補助が全額出るとの説明があったからです。また、ETC技術の向上を目的とする実証実験とのことで、使用後には他の場所への移動も可能だそうです。

来年の夏頃に設置予定ですが、人や物に接触せず決済できるETCの1日も早い設置を願っています。

ただし、東京オリ・パラが開催される時期と重なり、ETCがしっかり稼働しなければ、渋滞必至で大混乱を引き起こします。

その場合は、ゲートごと撤去して無料にすべきだと思います。万全な整備を期待します。



ETC多目的利用(ネットワーク型ETC)の概要

国土交通省の活用方針(社会資本整備審議会 国土交通幹線道路部会資料より)

非接触型決済であるETC技術の多様な分野への拡大

- 新型コロナ感染防止対策として有効な非接触での決済が可能となるサービスの実現に向け、高速道路以外の施設においても、ETC技術を活用した決済システムの拡大を推進。
- 有識者による検討や試行運用を通じて、新しいセキュリティ等の技術や制度を確立し、併せてコストダウンを実現。今後、フェリーやドライブスルーなど、多様な分野において広く展開。

今後の展開

<h4>地方道路公社(ETC未導入)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・R16より神奈川東道路公社で実証実験を実施 ・R23より同公社で一部導入(モニター調査を実施) 	<h4>駐車場</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・H29.7より、民間駐車場での実証実験を実施(東京、大阪、名古屋、静岡 全6箇所) 	<h4>フェリー乗り場</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・H31.3よりカーフェリーでの実証実験を実施(八戸港フェリーターミナル) 	<h4>ドライブスルー</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブスルー店舗で実証実験を準備中
---	---	--	--